

アフリカの貌

2011.4.1.fri 9.25.sun

アフリカのアート、おもちゃなど

Ablade Glover
Anapa
Moustapha Dime
Issa Samb
etc.

世田谷美術館（砧公園内）は、改修工事のため、
2011年7月1日（金）から2012年3月末まで休館します。
今年度は3分館を会場に、世田谷美術館のコレクション
を使った展覧会を開催します。

宮本三郎の作品は、展示室内に一コーナーを設け、
晩年の《ヴィーナスの粧い》（1971）、《假眠》（1974）
その他代表的な作品から約10点を展示します。

アフリカのストリート・アートより《床屋の看板》《マネキン》

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

- 開館時間／午前10時～午後6時（入館は午後5時30分）
- 休館日／毎週月曜日（ただし祝日の場合は開館、翌日休館）
- 観覧料／一般200円（160円）、大・高生150円（120円）、中小生・65歳以上・障害者の方（一般）100円（80円）
- ※（ ）内は20名以上の団体料金。中・小生は土・日・祝休日、夏休み期間は無料。
- 障害者で小・中・高・大学生、および障害者の介護者（当該障害者1名に付き、1名に限る）は無料。

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13 TEL.03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp> 東急大井町線「自由が丘」駅 徒歩7分 東急大井町線「九品仏」駅 徒歩8分 東急目黒線「奥沢」駅 徒歩8分

アフリカの貌



イッサ・サンブ《彼らは立っている》
1994年



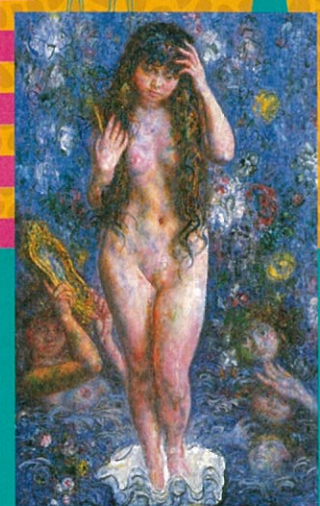
アナバ《ルバ・フィーリング》1995年

世田谷美術館が、アフリカの現代作家の作品をコレクションしていることをご存知でしょうか？「インサイド・ストーリー 同時代のアフリカ美術」展（1995-96）開催以来、本館ではたびたびアフリカ美術の紹介を行ってきました。本展では、世田谷美術館が2011年7月1日より翌年3月末まで改修工事により休館になるのを機に、宮本三郎記念美術館で初めて、同時代のアフリカ美術をご紹介します。

たとえば、アナバ（1962 - / コードジボワール）の《ルバ・フィーリング》。「盛り場のごろつき」を意味する仏語「ルバール」の現地なまりである「ルバ」。荒々しいタッチが特徴的なその絵画には、立ち並ぶ高層ビルを背景に、腕を組み立ち尽くす一人の男が描かれています。地方から職を求め都会にやってきたものの、なかなか職にありつけない若者の姿がそこにはあります。

画家、彫刻家、演劇人、評論家などいくつもの顔をもつイッサ・サンブ（1945 - / セネガル）は、木の枝やロープ、フライパンなどアフリカであればどこでも手に入る素材を使って人間を表現しています。《彼らは立っている》は、人間だけではなく、アフリカの歴史にも言い及んでいるように思われます。廃材を利用しているのはサンブだけではありません。ムスタファ・ディメ（1952-1998/ セネガル）には、海岸に流れ着く流木や廃船を解体して得た木を使った作品があります。

本展ではそういったアフリカの現代作家による絵画や彫刻を中心しつつ、現地のマネキンや床屋の看板、おもちゃなどもあわせて展示します。それぞれにアフリカを伝える美術作品や資料などから、アフリカという広大な土地から立ちあがる、さまざまな「貌」（かお）をご覧いただければ幸いです。



宮本三郎《ヴィーナスの粧い》1971年

宮本三郎コーナー

洋画家・宮本三郎（1905 - 1974）は、石川県小松市生まれ。画家を志して上京し、1927年に二科展に初入選、以後'44年に二科会が解散するまで毎年出品し、'36年に会員。'35年から世田谷区奥沢に住居兼アトリエを構える。'38 - '39年渡欧。戦時中は、《山下、パーシバル両司令官会見図》などの戦争記録画を多く描いた。'47年熊谷守一、中川紀元らと第二紀会を結成、のち理事長となる。晩年には燃えるような赤を主調として、華やかな女性像を得意とした。'66年日本藝術院会員。本展では、展示室内に小コーナーを設け、《ヴィーナスの粧い》（1971）、《假眠》（1974）など、当館が所蔵する宮本三郎コレクションから、油彩・素描をあわせて約10点を展示します。



宮本三郎《假眠》1974年



©宮本和義

交通／東急大井町線・東横線「自由が丘」駅（徒歩7分） 東急大井町線「九品仏」駅（徒歩8分） 東急目黒線「奥沢」駅（徒歩8分）

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢 5-38-13

電話 03-5483-3836

www.miyamotosaburo-annex.jp



本館情報

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園 2-5-1

電話 03-3415-6011(代) ハローダイヤル 03-5777-8600

www.setagayaartmuseum.or.jp 詳細はホームページなどでご確認ください。

世田谷美術館は改修工事のため、

2011年7月1日(金) から2012年3月末まで休館します。

企画展

生誕100年記念特別展 世田谷美術館開館25周年記念

「白洲正子 神と仏、自然への祈り」2011年3月19日(土)～5月8日(日)

ミュージアム コレクション

「保田春彦・デッサンによる人間探求」2011年1月20日(木)～4月10日(日)

「イタリアの部屋でみる夢」2011年4月20日(水)～6月30日(木)

分館情報

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 世田谷区弦巻 2-5-1 電話 03-5450-9581

www.mukaijunkichi-annex.jp

「街・人・出来事-向井潤吉と桑原甲子雄」4月1日(金)～6月26日(日)

「武蔵野を歩く-向井潤吉と師岡宏次」7月2日(土)～9月25日(日)



©宮本和義

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城 2-22-17

電話 03-3416-1202

www.kiyokawataiji-annex.jp

「抽象の風 I」4月1日(金)～9月25日(日)



©宮本和義